



日本一決定戦 筆記試験

見積り部門

注意事項

- ・試験問題は、BP グランプリ過去問題に新規問題を一部追加した構成になっています。内容についての口外は控えてください。また、問題用紙も持ち帰りはできません。
- ・試験中は、私語や飲食、離席を禁止します。トイレなどやむをえない場合は、監督者に挙手でアピールしてください。
- ・解答は、はっきりした字で解答欄に、英記号または○×で記載してください。読みにくい字は判定しません。
- ・プリントの文字が欠けているなど不明な点があれば、監督者に申し出てください。なお、問題の内容に関する問い合わせには応じられません。
- ・制限時間内に終了した場合は、30分を過ぎれば退室してもかまいません。挙手して監督者にアピール、表紙の氏名の記載を確認の上、速やかに退室してください。
- ・カンニング、携帯電話使用による検索・撮影など、不正・不審な行為を発見した場合は、即退室を促し、筆記試験の獲得ポイントはゼロとします。

制限時間 40分

ゼッケン番号	氏名	
見積り	班 一	点

主 催

株式会社プロトリオス

日本自動車車体整備協同組合連合会

問1 次の文章で正しいものには○を、間違っているものには×を記入しなさい。

	質 問	解答欄
1	2015年の事故車修復にかかる支払い保険金は、2014年に比べて減少した。	
2	同じ等級でも『事故有り』と『事故無し』で異なる割引率を使用する制度は、共済では採用実績がない（2016年9月現在）。	
3	フロントガラスに飛び石による傷があり、スバル・アイサイトのステレオカメラに映りこむ個所であったため、フロントガラスを交換とした。	
4	指数を策定するための「作業員」の条件は、脱着・取替作業、外板板金修正作業、内板骨格修正作業は実務経験3年程度、補修塗装作業は実務経験5年程度または金属塗装技能検定2級程度の技能を有する者としている。	
5	外板板金修正指数において、パネルに逆アールがあるものなど、钣金作業が難しい場合には、追加計上してもよい。	
6	2000年10月以降の補修塗装指数において、バンパー単体作業の塗り数値は設定されていない。	
7	外板板金修正指数は、特殊な材質（アルミ、ステンレス、FRP等）のパネルでも使用できる。	
8	補修塗装指数における複数塗りは、補修塗装部位が連続している他のパネルと同時に作業を行う場合に適用する。	
9	補修塗装指数において、取替（新品）パネルの塗り数値には下処理およびシーリングが含まれている。	
10	内板骨格修正指数の基本指数に含まれる短時間のハンマリングで修正可能な修正作業の短時間とは、空打ちを含めて30分程度である。	

問 2 以下の文は、外板板金修正指数と補修塗装指数における工程上の境界線について述べたものです。() に当てはまる言葉を下から選び、記号で答えなさい。

指数では、钣金工程と塗装工程の境界を、(11) の仕上がりレベルで示して区分しています。具体的には、「钣金工程の最終仕上がりレベルは、作業方法いかんにかかわらず、塗装工程に入ってから、修正面を (12) で (13) 仕上げれば、プラサフ塗装できる位のレベル」としています。

なお、外板板金修正指数と補修塗装指数は、钣金修正後に補修塗装を行い、修理を完了させるまでを前提としたものです。よって、両指数は原則として (14) 利用します。

- A. 脱着・取替作業 B. 钣金修正作業 C. ポリエステルパテ D. 钣金パテ
E. 1 回程度 F. 2 回程度 G. 個別に H. セットで

11	12	13	14
----	----	----	----

問 3 次の説明文のなかで、正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

15. 電話応対について、正しいものを選びなさい。

- A. 電話がかかってくるまで3コールまでは無視してもかまわない。
B. 対応は明るく、親切、ていねいが基本であり、暗く、不親切な印象を与えないように心がける。
C. 作業しながら、見積りを作成しながらの電話応対で、無駄な時間を省くべきである。
D. 担当へ電話を回す際には、誰から、どんな用件かなどを引き継がず、とにかく早くする。

解答欄

16. 自動車保険に関する説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. 自賠責保険は、補償内容、保険料が各損保会社によって異なる。
B. 電柱に衝突した自損事故の場合、電柱の修理代は自賠責保険で支払われる。
C. 自賠責保険はすべての車での加入が義務づけられており、対物賠償を目的とする。
D. 自賠責保険とは、自動車損害賠償責任保険のことである。

解答欄

17. 脱着・取替指数に関する説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. 脱着・取替指数には、部品を取り付ける相手部位の修正時間が含まれている。
B. 部品取替の際には、付属部品の取り外しは含まれているが、取り付けは別途計上できる。
C. 「…取外し状態」との記載があるものについては、必ず取り外さないと作業できない。
D. 事故による変形や、錆付き等、多少の取り外しにくさは指数値に反映されている。

解答欄

18. 脱着・取替指数に関する説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. 相手部位が正常ではない状態も想定しているので、いくら時間がかかっても指数値を守る。
- B. (含)立付調整とは、骨格部位などにゆがみがあり、隣接パネルとのチリが合わない場合に調整する作業を想定している。
- C. 溶接系パネルの取替作業においては、粗切り作業は指数に含まれている。
- D. 溶接系パネル取替の際の、周辺の保護作業は指数に含まれていない。

解答欄

19. 補修塗装指数についての説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. 水性補修塗装指数の使用方法は、従来の補修塗装指数と同様である。
- B. 水性補修塗装指数では、プラサフやクリヤーも含めて、すべての工程で水性塗料を使用することが前提とされる。
- C. 水性と溶剤の塗り数値の差は、最終工程の乾燥にかかる時間の差である。
- D. 水性補修塗装指数においては、低隠ぺい性塗色の付加数値を一切使用できない。

解答欄

問4 以下の文は、「指数テーブルマニュアル」からの補修塗装指数における塗装ブースの説明の引用文です。次の文章の（ ）内に当てはまる言葉を下から選び、記号で答えなさい。

補修塗装指数では、ブースを次のように整理しています。

- (a) プッシュ・プル型であること
- (b) ブース内の気圧が外気に比べ（ 20 ）となるもの
- (c) 吸気側には（ 21 ）対策用のフィルタ、排気側には（ 22 ）を捕捉する設備があるもの
- (d) 塗り肌調整のため（ 23 ）調整が可能なもの

- | | | | |
|--------|----------|--------|---------|
| A. 負圧 | B. 正圧 | C. ミスト | D. 有機溶剤 |
| E. ホコリ | F. 研磨粉じん | G. 風量 | H. 光量 |

20	21	22	23
----	----	----	----

問5 次の問いの答えを下から一つ選び、記号で答えなさい。

24. 損傷の診断においては、ボデーの応力が集中しやすい個所を特に点検する。応力が集中する部分ではないところを選びなさい。

- A. 打ち抜き穴
- B. 閉断面
- C. 断面積の変化
- D. わん曲（コーナー部）

解答欄

25. 「脱着・取替指数」に含まれている作業について、正しいものを選びなさい。

- A. パネル取替時に発生する取り付け相手パネルのナゲット研磨および修正
- B. ディーラーオプション部品の取替作業
- C. 内板骨格パネルの取替部のシーリング
- D. 修理作業時にバッテリー端子を外したり、電子機器の脱着または取替を行った場合の再設定作業

解答欄

26. 補修塗装指数についての説明文で、正しいものを選びなさい。

- A. 高機能塗装が塗布されているかは、損害保険会社が判断する。
- B. 高機能塗装が塗布されているかは、補修塗料メーカーが判断する。
- C. 高機能塗装が塗布されているかは、自動車メーカーからの情報で判断する。
- D. 高機能塗装が塗布されているかは、自らの経験と勘に基づき判断する。

解答欄

問6 以下の文は、「指数テーブルマニュアル」の「まえがき」からの引用文です。次の文章の（ ）内に当てはまる言葉を下から選び、記号で答えなさい。

「外板板金修正指数」「（ 27 ）指数」については（ 28 ）となっておりますので、本書記載の「（ 28 ）編・指数テーブル」で使用方法をご確認いただき、ご使用ください。

なお、指数は（ 29 ）であり、作業項目に記載された作業範囲、修理方法・手順などは、指数の前提条件として記載しているもので、作業方法などを指定あるいは強制するもの（ 30 ）。

- | | | | |
|---------|-----------|------------|---------|
| A. 補修塗装 | B. 内板骨格修正 | C. 車種別 | D. 車種共通 |
| E. 参考資料 | F. ルール | G. ではありません | H. です |

27	28	29	30
----	----	----	----

問7 次の説明文のなかで、間違っているものを一つ選び、記号で答えなさい。

31. 車体を構成する素材に関する説明文で、間違っているものを選びなさい。

- A. プラスチック素材は修理ができないので、損傷があれば必ず交換する。
- B. 損傷機会の多いバンパーは、素材の多くがPP（ポリプロピレン）である。
- C. バックドアやフロントフェンダーなどにプラスチック素材が採用されることもある。
- D. カーメーカーのボデー修理書には、プラスチック部品使用個所や素材の種類などが掲載されている。

解答欄

32. 損傷の種類に関する説明文で、間違っているものを選びなさい。

- A. 直接損傷とは、衝撃力を直接受けたことによる損傷のことである。
- B. 波及損傷と誘発損傷は、間接損傷に分類される。
- C. フロントからの衝撃で起こった、ルーフのアウトターの歪みは波及損傷である。
- D. 誘発損傷とは、衝突のあとの慣性でガードレールなどにぶつかったことによる損傷のことである。

解答欄

33. 損傷診断に関する説明文で、間違っているものを選びなさい。

- A. 正面衝突では、真正面よりオフセットのほうが損傷が激しい。
- B. 電信柱など受圧面積が小さいものに衝突した場合は、面積の大きな壁などに衝突した場合と比べて、損傷が浅く軽くなる。
- C. 相手車両の重心に向けて衝突した場合には、損傷が激しくなる。
- D. 相手車両の重心から、ずれて衝突した場合には損傷は軽くなる。

解答欄

34. 指数に関する説明文で、間違っているものを選びなさい。

- A. 正味作業時間とは、作業エリア内で実際に作業している作業時間のことである。
- B. 余裕時間とは、疲労回復や作業上のゆとりのことで、パテの乾燥待ちや朝礼などの時間も含まれる。
- C. 指数は、正味作業時間、余裕時間、準備時間を含んだものである。
- D. 余裕時間は各種実態調査の結果を参考に正味作業時間の 30%と見なしている。

解答欄

35. 樹脂パンパ補修塗装指数についての説明文で、間違っているものを選びなさい。

- A. 樹脂パンパ補修塗装指数には、加算基礎数値は適用されない。
- B. 樹脂パンパ補修塗装指数は、樹脂バンパーを車両から取り外した状態で、部分塗装ではなく、全面を塗装することが前提条件となっている。
- C. 樹脂パンパ補修塗装指数は、速乾、2K、水性の3種類と、それぞれの塗膜の種類（3種類）の組み合わせによって指数が設定されている。
- D. 樹脂パンパ補修塗装指数は、外板パネルとの同時作業を前提としているため、外板パネルと塗色が異なる場合は調色時間等を加算することができる。

解答欄

36. 補修塗装指数についての説明文で、間違っているものを選びなさい。

- A. ソリッドの加算基礎数値は、1枚～5枚で数値は一律ではない。
- B. メタリックの加算基礎数値では、枚数ごとにクリヤーの塗装作業が加算される。
- C. 2コートパールを加算基礎数値では、枚数ごとにクリヤーの塗装作業が加算される。
- D. 3コートパールを加算基礎数値では、枚数ごとにパールベースの塗装作業とクリヤーの塗装作業が加算される。

解答欄

問8 以下の文は、「指数テーブルマニュアル」記載の補修塗装指数の2トーン加算についての説明です。次の文章の（ ）内に当てはまる言葉を下から選び、記号で答えなさい。

2トーン加算は、ベース色（上部色）でモノトーン塗装する場合と2トーン塗装する場合を比較し、増減する要素を取りまとめたもので、2トーン塗装を必要とするパネル枚数（ぼかし塗装のみ行ったパネル（ 37 ））に応じてベース色の（ 38 ）に加算します。

（ 39 ）する要素としては、下部色の調色、見切り用のマスキング、下部色の上塗り塗装（ぼかし塗装含む）、みがき作業などがあり、（ 40 ）する要素としては、ベース色である上部色の上塗り作業（ぼかし塗装含む）、みがき作業などがあります。

- A. は含めない B. を含む C. 加算基礎数値 D. 塗り数値
E. 減少 F. 増加

37	38	39	40
----	----	----	----